



市川市立第一中学校 学校だより

え の き

<http://www.dai1-tyu.ichikawa-school.ed.jp/new/>

令和4年度 第5号

校長 石原 一幸

令和4年9月0日

## ＝はじめに＝

夏休み前に心配しましたことの一つに、生徒が事件や事故にあうことがありました。交通事故や水難事故は特に心配でした。休み中、命にかかわるような大きなことの報告はありませんでした。先生方の事前指導と、ご家庭での継続指導、そして生徒自身が一中生としての品格をもち、落ち着いて行動してくれた成果であると思います。

夏休みの部活動が1学年2学年中心に変わっていきました。部活動は途切れることなく続きます。多くの部活動は、2年生が中心になって学校を引っ張っていくこととなります。楽しみです。3学年が残って活動をしているのは、吹奏楽部です。第64回千葉県吹奏楽コンクールに出場し、中学校B部門（30人以下の小編成）で千葉県代表となり、9月17日の東関東吹奏楽コンクールに出場を決めました。当日、力いっぱい演奏してほしいと思います。

2学期が始まりました。「おはよう」の挨拶から始まる日常がスタートしました。ひと夏を超え、1学年2学年は、身長が大きくなりました。

1学期に皆様からいただきました学校評価の結果の報告は10月の学校だよりで説明いたします。ご協力ありがとうございました。『青春の花々が咲きあう第一中学校の実現』に向けて、9月から気を付けていくことを先生方と再度確認し、学校経営を進めてまいります。



【9月の美術部の作品】

## 1 新型コロナウイルス感染症への対応について（濃厚接触期間について）

夏休み中の千葉県と市川市の新規感染者数の推移はこのようになっています。

	千葉県	市川市
7/22～7/28の新規合計	63399人	5602人
7/29～8/4の新規合計	66495人	5525人
8/5～8/11の新規合計	60979人	4744人
8/12～8/18の新規合計	41927人	2939人
8/19～8/25の新規合計	50788人	3284人

7月末のころから、少しずつ減少の傾向にあります。しかし、いまだに感染者は多い現状であります。熱中症対策を踏まえたマスクの着用、換気の実施、手洗い、0密の励行を進め、今後も十分に気を付けて学校生活を整えていきます。規則正しい生活を心がけ、免疫力を維持し

ウイルスによって発熱しない体づくりも大切であります。

濃厚接触期間については自宅待機期間が7日間から5日間への報道があり、市川市の小中学校の児童生徒においても、その方向になりました。市川市教育委員会のコロナ関連資料のうち、8月31日に更新された『登校の判断について』や、9月1日に学校からのお便りでお知らせいたしました『今後の新型コロナウイルス感染症の対応について』を参照してください。

## 2 防災について

9月1日は、関東大震災の被災日であることから、防災の日とされています。

防災の日には台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識や理解を深め、それらの災害に対処する心構えと備えをするための日です。自分の家にある災害備蓄品の保存期限をチェックしたり、見直したりする日でもあります。

災害はいつ起きるかわかりません。校長室には、2022年3月18日の新聞が見えるところに貼ってあります。3月17日に東北地方で大きな地震がありました。東日本大震災を思い出させる写真がありました。東北新幹線は脱線し、福島では給水に並ぶ人の列ができています。災害に対しては、学校は緊張感をもち、有事の際は生徒の安全を確保します。市川市教育委員会HPの教育委員会からのお知らせの中に、『非常変災時（台風等）における学校の対応』があります。地震については千葉県北西部において『震度5弱』以上を観測したときが対応の基準となり市川市も学校も対応を始めます。昼間等の授業時間で観測された場合は、生徒は学校で待機し保護者、保護者に代わる方への直接の引き渡しが基本となります。食事については、500mlの水と非常食を備蓄しています。非常食はアレルギーの対応も考えて準備をしています。災害備蓄は、使わないで済むときは卒業前に生徒に渡します。家庭でも学校でも、災害が起きた時の行動や準備について話題にし、繰り返し確認しておくことで実際の時に落ち着いた行動をとれるようにお願いしたいと思います。

### 3 学校支援実践講座交流会について

第一中ブロックの小中学校では、コミュニティスクールを立ち上げ、学校運営協議会と地域学校協働本部両輪で、地域と学校をつなぎ学校を支援いただく取り組みがあります。地域を総括した取り組みは、Firstnik（ファーストニク）といい、一中（first）中国分小（n）市川小（i）国府台小（k）の頭文字をとった名称で呼び、その実践は令和3年2月に文部科学大臣から表彰を受けました。

9月12日の56時間目に、2学年にて、いじめにつながりそうな事例を扱い、人とのかわり方を考える道徳の授業を行います。その際、各学級に6名ほどの第一中学校ブロックの地域の地域の方に入っただき、生徒の学習班とともに話し合いに参加いただき、一緒に学びあいを行います。生徒たちの話し合いで出てきた内容を話していただいたりもします。

地域の方とこうした触れ合いの場があることは、一中フェスタとともに、本校の大切な取り組みであると思います。「地域とともに歩み、地域を大切に作る学校」を本校は目指す学校の姿の一つとしています。生徒に地域を大切に作る心を育てていきたいと思っています。

### 4 令和4年度生徒会役員選挙について

9月13日に生徒会役員選挙が行われます。生徒会役員の任期満了に伴い、生徒会役員選挙を行います。生徒たち一人一人に生徒会活動の方向性や新しいリーダーについて考え、生徒会の一員である自覚を持ってもらうとともに、公正な選挙の在り方、選挙と政治参加についての学習の場として、この活動を考えています。

各学級1名が選挙管理委員になり、6月に選挙管理委員会を立ち上げ準備を進めてきています。

生徒会役員は会長、副会長、書記、会計、会計監査の9名を本部役員として選出します。

選挙運動期間が決められていて、朝の時間の呼びかけ、お昼の放送での演説、ポスターの掲示が予定されています。当日は、体育館で立候補演説と応援演説があります。体育館には1学年だけが入り、他学年はオンラインで映像と音声を送り、教室で演説を聞きます。演説を聞いた後、生徒手帳をもち、生徒は投票場に向かいます。生徒手帳を見せて投票用紙を受け取り、候補者から選び投票します。市川市の選挙管理委員会に物品保管の場所を提供していることから、本物の投票箱を使って投票します。

公職選挙法の改訂で満18歳から選挙権を得るようになりました。1票を投じることで政治に参加し、投票で選ばれた人の行うことに協力することは、国民主権と政治参画のしくみであり、中学校での体験が選挙権を行使するときに生きて働くようであってほしいと思います。